

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の安来市の概要について

安来市教育委員会 学校教育課

令和3年5月27日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査結果について、本市の概要をお知らせします。

## 1 全国の状況

○本年度の調査は、小学校第6学年で国語、算数、中学校第3学年で国語、数学を全児童生徒を対象として実施されました。  
 ○令和元年度より、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、従来の「主として知識に関する問題」(A)と「主として活用に関する問題」(B)を見直し、「知識」と「活用」を一体的に問う出題形式となりました。  
 ○平成29年度より、全体の平均正答率は整数値にて公表されています。よって、各教科における全体の結果については全国との差に誤差(四捨五入の関係による)が生じることから、表示はしておりません。

## 2 安来市の状況

### (1)教科の概要

#### 〈小学校6年生〉

国語:全体では、令和元年度よりも全国平均との差が大きくなった。  
 ・「書くこと」は、令和元年度よりも全国平均を大きく下回りました。  
 ・「読むこと」、「話すこと・聞くこと」は、令和元年度よりも全国平均を下回りました。  
 ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関すること」は、令和元年度からの改善が見られ、全国平均との差が3.3ポイント改善されました。  
 ・思考に関わる語句の使い方を理解することや、目的に応じ、資料を使って話すことはよくできています。一方、目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けることや、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題があります。

算数:全体として、全国平均より下回る状況でしたが、令和元年度より全国との差が0.4ポイント改善されました。  
 ・「数と計算」は、令和元年度から全国平均との差が2.0ポイント改善されました。  
 ・「図形」は、全国平均を大きく下回りました。  
 ・棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることや、道のりと時間の関係や速さと道のりをもとに時間を求める式に表すことについてはよくできています。一方、複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することや、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、その求め方の説明を記述することに課題がありました。

### 【国語】

国語		平均正答率(%)			
		安来市	県	全国(公立)	全国との差
全体		61	63	64.7	
領域	話すこと・聞くこと	73.2	74.0	77.8	-4.6 ▲
	書くこと	53.3	55.9	60.7	-7.4 ▲
	読むこと	42.5	43.9	47.2	-4.7 ▲
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	66.9	70.0	68.3	-1.4 △

※安来市の平均正答率を全国平均に対して、差が+3ポイント以上を◎、全国平均を上回り+3ポイント未満を○、全国平均を下回り-3ポイントまでを△、-3ポイント以下を▲で示しています。

### 【算数】

算数		平均正答率(%)			
		安来市	県	全国(公立)	全国との差
全体		68	67	70.2	
領域	数と計算	61.5	61.4	63.1	-1.6 △
	図形	51.6	51.6	57.9	-6.3 ▲
	測定	74.5	72.7	74.8	-0.3 △
	変化と関係	74.7	73.6	75.9	-1.2 △
	データの活用	73.4	66.8	76.0	-2.6 △

〈中学校3年生〉

国語:すべての領域で全国平均を下回りました。  
 ・「話すこと・聞くこと」は、全国平均を少し下回りました。  
 ・「読むこと」は、全国平均を大きく下回りました。  
 ・話し合いの話題や方向、質問の意図を捉えることや、文脈に即して漢字を正しく読むことはよくできています。一方、文章に表れている物の見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことや語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことに課題があります。

数学:すべての領域で全国平均を下回りました。  
 ・「数と式」と「図形」は、全国平均を大きく下回りました。  
 ・「関数」と「資料の活用」の全国平均と比較し、「関数」が0.9ポイント、「資料の活用」が0.4ポイント改善しました。  
 ・データから中央値を求めることや表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることはできています。一方、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することやある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見い出し、それを数学的に表現することに課題があります。

【国語】

国語		平均正答率(%)			
		安来市	県	全国(公立)	全国との差
全 体		61	62	64.6	
領域	話すこと・聞くこと	78.6	79.6	79.8	-1.2 △
	書くこと	54.3	55.7	57.1	-2.8 △
	読むこと	42.5	44.5	48.5	-6.0 ▲
	伝統的な言語文化と国語の特質に関すること	71.5	72.3	75.1	-3.6 ▲

※安来市の平均正答率を全国平均に対して、差が  
 +3ポイント以上を◎  
 全国平均を上回り+3ポイント未満を○  
 全国平均を下回り-3ポイントまでを△  
 -3ポイント以下を▲で示しています。

【数学】

数学		平均正答率(%)			
		安来市	県	全国(公立)	全国との差
全 体		51	53	57.2	
領域	数と式	56.8	60.1	64.9	-8.1 ▲
	図形	43.2	45.0	51.4	-8.2 ▲
	関数	51.4	53.5	56.4	-5.0 ▲
	資料の活用	51.2	52.6	53.8	-2.6 △

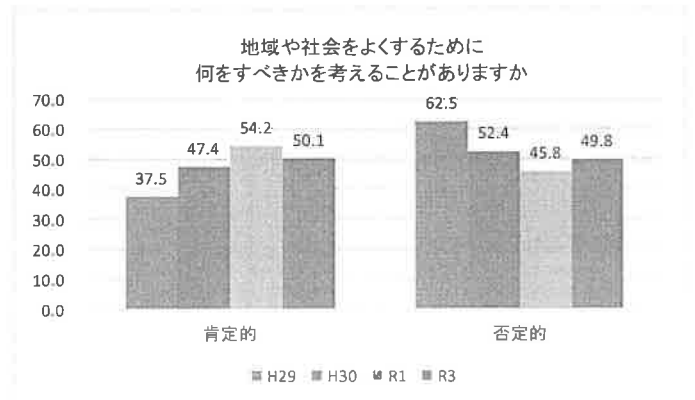
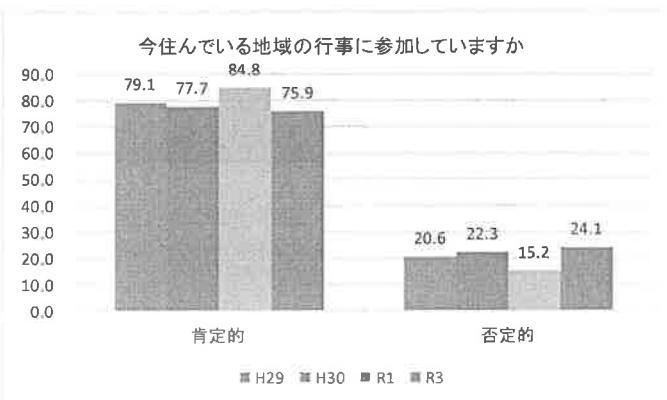
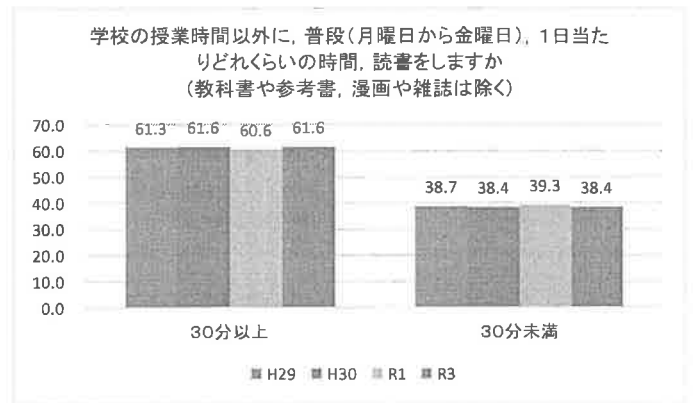
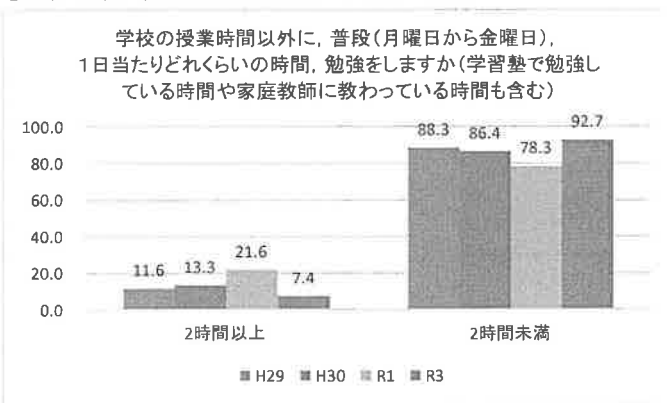
## (2) 学習や生活の様子(児童生徒質問紙調査より)

〈小学校6年生〉

### 【全国と安来市との比較で特徴的な項目】(全国平均との差)

肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)	
小 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今住んでいる地域の行事に参加していますか。(＋17.8)</li> <li>・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。(＋7.8)</li> <li>・国語の勉強は好きですか。(＋6.8)</li> <li>・自分には、よいところがあると思いますか(＋6.7)</li> <li>・あなたの学校では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。(＋4.2)</li> </ul>
	否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、学校の授業以外で英語を使う機会がありましたか。(－14.3)</li> <li>・5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか。(－7.3)</li> <li>・国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか。(－6.1)</li> <li>・解答時間は十分でしたか。(算数)(－4.4)</li> <li>・将来の夢や目標を持っていますか。(－4.1)</li> </ul>

### 【地域・家庭に関わる項目】(過去4年の経年比較)



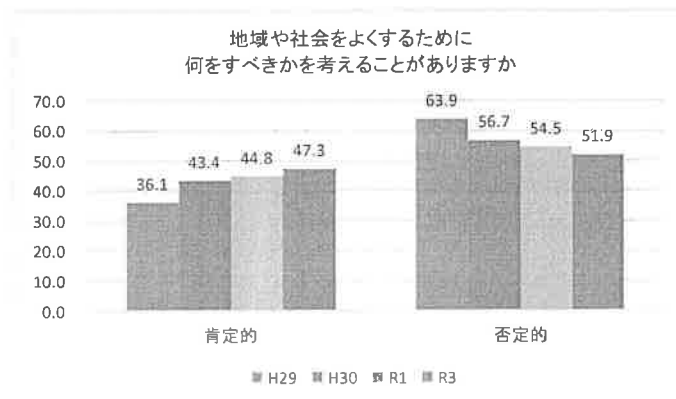
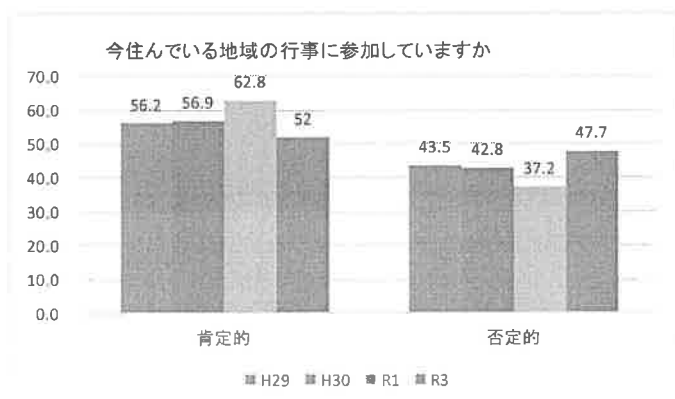
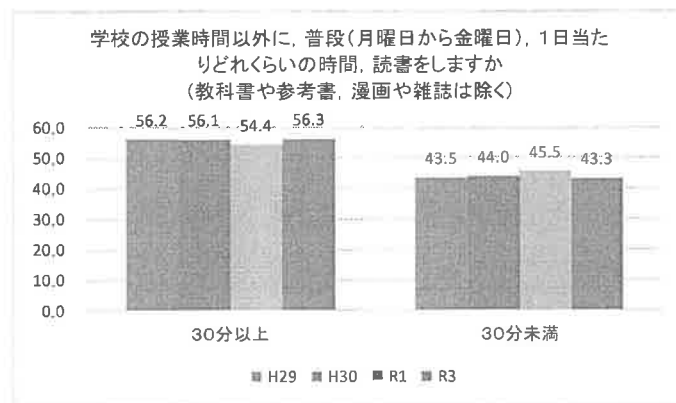
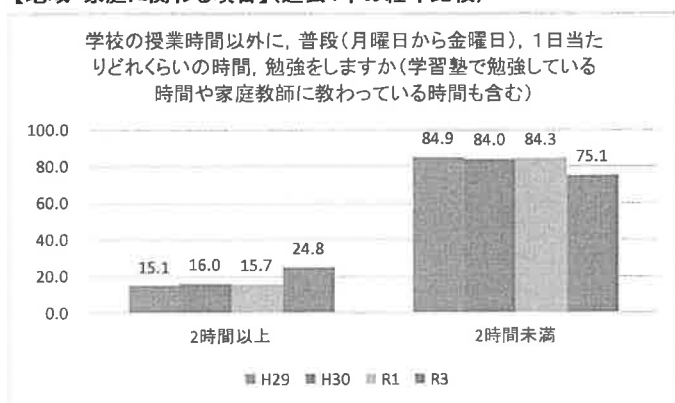
## (2) 学習や生活の様子(児童生徒質問紙調査より)

〈中学校3年生〉

### 【全国と安来市との比較で特徴的な評価項目】(全国平均との差)

中学校	肯定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 2年生のときに受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか。(+18.9)</li> <li>・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。(+13.2)</li> <li>・今住んでいる地域の行事に参加していますか。(+8.3)</li> <li>・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。(+7.4)</li> <li>・自分にはよいところがあると思いますか。(+5.6)</li> <li>・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。(+8.4)</li> </ul>
	否定的な評価項目(全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や目標を持っていますか。(−8.7)</li> <li>・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。(−5.0)</li> <li>・国語の授業では目的に応じて自分の考えを話したり、必要に応じて質問したりしていますか。(−5.0)</li> <li>・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか。(−3.8)</li> <li>・これまで、学校の授業やその他の学習以外で日常的に英語を使う機会が十分にありましたか。(−3.4)</li> <li>・解答時間は十分でしたか。(国語)(−3.4)</li> </ul>

### 【地域・家庭に関わる項目】(過去4年の経年比較)



### 3 結果を受けて

安来市の各小・中学校では、児童・生徒の学力向上を目指し、授業改善はもとより、授業時間以外でも様々な活動に取り組んでいます。安来市教育委員会としましては、全国学力・学習状況調査と島根県学力調査の結果を分析し、さらに学校訪問や各校の授業研究会などの取組の成果や課題を考察した上で、今後の各校の学力向上に向けた具体的な改善の取組を支援していきます。

また、学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要であることに鑑み、今後さらに学校と家庭とが連携する取組や保育所園・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校が連携する取組を支援していきます。

#### 〈学校で〉

○ どの教科においても、すべての児童・生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させることが大切です。理解できたという喜びは新たな学びへの原動力になります。個に応じたきめ細かな指導を充実させたり、補的な学習を取り入れたりする必要があります。

また、思考力・判断力・表現力等を育成し、理解していること・できること(知識・技能)を活用していけるようにします。学校では、各教科の学びをつなぐ探究的・発展的な学習を取り入れたり、児童・生徒が互いに学び合ったりできるような授業実践を目指して、さらなる工夫・改善が望まれます。

このような学びにより、学ぶことに興味や関心をもち、自己の生き方の方向性と関連づけながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の育成が期待されます。

○ 児童・生徒が主体的に、見通しをもって学習に取り組むために、授業のはじめに目標(めあて・ねらい)を示すこと、また、学習したことを整理し、理解の定着を図るために、授業の最後に学習内容を振り返る活動を行うことが必要です。

○ 学力調査において、課題の見られた設問について各校で分析し、該当の単元あるいは領域について授業改善に取り組んでください。学力調査の結果分析を改善策の策定に活かし、実践し、評価するPDCAサイクルを構築されることが望まれます。

その際、年度ごとにリセットされることのないよう次年度へ継続し改善を図ることが大切です。

○ 小・中学校が児童・生徒の学力や生活習慣における共通の課題を明確にし、9年間の内容を系統化し、継続して指導に当たること、成果がより上がるものと考えられます。

○ 保護者と連携しながら、家庭での学習習慣や生活習慣の確立に努める必要があります。

○ 地域の行事に参加する児童・生徒が多いことは本市の特色です。これまで各学校で取り組んできたふるさと教育の成果であると考えられます。児童・生徒質問紙の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目で、中学生が全国平均よりも肯定的な回答をしている割合が高く、地域と連携した取組や地域の行事などへの主体的な参加が、地域貢献の意欲を高める結果となっています。

今後も、児童・生徒が自ら地域と関わり、地域の課題を発見し、解決していく探究型の学習が継続されることが期待されます。

○ 児童生徒一人一人に確実に学習の基盤となる資質・能力を育成するために、今後更に個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な充実が必要です。ICT活用の特性と強みを生かした教育活動と、今まで積み重ねた図書館活用教育の実践のベストミックスによる学習が展開されることが望まれます。

〈家庭、地域で〉

◎家庭へのお願い

児童・生徒の学力の定着を図るために、以下のような取組をお願いします。

- 基本的な生活習慣を身につけさせましょう。
  - ・あいさつや食事、睡眠、起床時間など規則正しいリズムを身につけると、児童・生徒の本来持っている力が高まります。
- 家庭で主体的に学習する習慣を身につけさせましょう。  
(各学校で配布されている家庭学習の手引きが参考になります。)
  - ・日々、家庭で学習すること(宿題や予習などの学習を大切にすること)は、基礎学力の定着や学力向上には不可欠です。学校では、授業と家庭学習をつなげた取組がなされています。
  - ・今年の調査では、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目において、小・中学生ともに肯定的な回答が全国平均を上回っています。
- 家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう。
  - ・学校での出来事や、テレビのニュース番組を見たり、新聞を読んだりして気づいたことなどを話しましょう。  
(家庭で学校のことを家族と話し、社会に対する興味・関心の高い児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。)
- 日常生活の中で社会のルールやマナーを身につけさせましょう。
  - ・お手伝いを通して自分の役割の大切さを感じ、責任感をもつことができます。
  - ・思いやりの心や社会性などを育むことができます。
- 読書に親しむ経験を豊かにしましょう。
  - ・本に親しむ経験は、学習の基盤につながります。
  - ・家で読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりするなど、家庭での読書の機会をさらに増やしましょう。
- 地域の行事に積極的に参加したり、郷土の自然や文化にふれる体験をしたりしましょう。
  - ・ふるさとへの理解を深め、ふるさとを愛する心が育まれます。
  - ・地域の人との温かなふれ合いが、規範意識、コミュニケーション力、自尊感情を高めます。

◎地域の皆様へのお願い

「地域の行事に参加している」児童生徒が多いことは、本市の大きな強みと言えます。これは、本市で進めているふるさと教育に対して地域の皆様にご協力をいただいている賜物であると考えています。

ふるさと教育については、より充実したものになるように今後も取り組んでいきますので、引き続きご支援よろしくをお願いします。